

■-----
【開催案内】公開シンポジウム「複合曝露評価と Human Biomonitoring」
-----■

1月16日（木）に、日本学術会議・講堂で日本学術会議公開シンポジウム「複合曝露評価と Human Biomonitoring」が開催されます。

- 主催: 日本学術会議 毒性学分会
(薬学委員会・食料科学委員会・基礎医学委員会合同)
 - 日時: 2020年1月16日（木） 13:00～17:50
 - 場所: 日本学術会議 講堂
東京都港区六本木 7-22-34 (千代田線・乃木坂駅下車)
- <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

- 参加費: 無料、
 - 事前申し込み: 不要
- ※日本毒性学会との共催です。

有害化学物質や重金属の健康リスクを評価する上で、各物質のハザードの評価のみならず、複合的な曝露に関する長期的なデータの蓄積が不可欠です。現在、諸外国において、血液などのヒト試料を用いて、環境汚染物質だけではなく、栄養素を含めた長期的なモニタリング (Human Biomonitoring) が実施され、リスク評価において重要な役割を果たしています。しかし、日本においては、環境汚染物質と栄養素の双方を視野に入れた複合的で経時的なモニタリングは実施されていません。本シンポジウムでは、複合曝露に関する「ヒューマンバイオモニタリング: Human Biomonitoring」の国内外での現状を検証し、その意義と重要性、導入の必要性について議論します。

入場無料、事前申し込み不要です。
ご興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。

プログラム、問合せ先につきましては、以下をご参照ください。
<http://p.bunri-u.ac.jp/lab10/tox/hbm0116.pdf>

★-----☆
日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。
アカウントは、@scj_info です。
日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=427&m=43837&v=f5bcc6e9>

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://krs.bz/scj/c?c=428&m=43837&v=17e7a9f6>

日本学術会議ニューズメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://krs.bz/scj/c?c=429&m=43837&v=b26c39f8>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34